

院長 コラム

一緒に考えましょう
健康のこと
医療のこと

78



市民病院 院長 神谷里明

失敗から学ぶ

失敗をすることは悪いことでしょうか。失敗をすると不幸でしょうか？最近では失敗を許さないという雰囲気が強くなってきている場面が多くみられ、失敗できない世の中になってきているとも感じています。私も60年以上生きてきて数々の失敗をしてきました。失敗は誰もしたくないものです。でも失敗をしたからこそ得られたものもあります。失敗は成功の基と言われる。何事も失敗もなくすべとうまくいけば言うことはありません。でも実際には失敗を繰り返した後に成功することのほうがはるかに多いのではないのでしょうか。失敗をすることによりうまくいかなかった

原因を調べ、よりよい方法を考えていく。その過程に意味があると思います。

今の世の中は失敗を恐れて挑戦をしない傾向があるように思われます。でも失敗をしなければ次には進めないこともたくさんあります。失敗を恐れず、次の一步を目指して進めば明るい未来があると考えてみませんか。当然ただ失敗を繰り返すだけでは進歩はありません。なぜうまくいかないのかを繰り返し考えて努力をしてこそ次の扉が開かれます。

年を取るとなかなか新しいことに挑戦することができなくなってきました。勤め人にとっては定年というものがひとつのきっかけになります。その定年も徐々に延長されていますが60歳から65歳くらいの間に迎えることが多い。定年をきっかけに新しいことにチャレンジするのもひとつの考えです。人生100年時代に入ろうとしています。まだまだ先は長いので新しいことに挑戦できるよう準備をしていかなければと考えています。そのためには心と体の状態を整えておく必要があります。現実にはなかなかその一步を踏み出せない自分に気づいてはいるのですが、挑戦することを忘れないようにしていきたいと思っています。